

さいしん

第 33 号

2010 年 6 月 6 日発行

袴田巖さんの再審を求める会 会報

年間会費：3000 円／郵便振替口座番号：00120-3-410592／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

ゆうちょ銀行 ○一九 店 当座 019-0410592／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

〒 101-0061 東京都千代田区三崎町 2-2-13 三崎信愛ビル 502 号

FAX：03-3238-0797

ホームページアドレス：<http://hakamada-saishin.org/>

E-mail : hakamada.saishin@gmail.com

映画「BOX 袴田事件 命とは」 ついに公開ロードショー！



再審を求める会の
ホームページが
リニューアル！！

渋谷ユーロスペース、銀座ジネパトスにて



面 会 報 告

● 2010/4/14、
22、5/13、26

発足！ 救援議員連盟
「袴田巖死刑囚」

証拠開示に進展！
第3回三者協議で



負けられない戦いは続く!!

GO AHEAD!

Contents

○報 告	弁護団レポート（三者協議開催！！！）	福田……………2
○ニュース	「袴田巖死刑囚救援議員連盟」ニュース	福田……………4
○レポート	浜松集会レポート	福田……………6
○報 告	面会報告	福田……………7
○レポート	映画『BOX 袴田事件 命とは』がついに公開！	校條……………12
○映 画 評	映画『BOX 袴田事件 命とは』評 久松さん、平野、江口、福田 … 13~14	
○報 告	ホームページリニューアルしました！	求める会事務局 15
○書籍紹介	『美談の男 冤罪袴田事件を裁いた元主任裁判官・熊本典道の秘密』福田……………15	
○活動報告	活動日誌、活動予定、編集後記	求める会事務局 16

Free
Hakamada
Now!!!

弁護団レポート



第3回三者協議開催！！！

共同代表・福田勇人

検察側からの申入れで延期されていた第3回三者協議が、5月28日(金)午前10時から静岡地裁で行われ、懸案だった証拠開示について進展が見られました。

今回行われた三者協議はもともと3月26日に予定されていましたが、弁護団からの証拠開示請求に対する検討に時間が必要との理由で検察が延期を求めてきたため、2か月遅れでこの日ようやく開催されたものです。なお、参加者は以下のとおりです。

裁判所：原田保孝裁判長・高橋孝治裁判官・久保田千春裁判官

検 察：林享男検事・北村隆検事

弁護団：西嶋勝彦・小川秀世・伊豆田悦義・村崎修・戸館圭之各弁護人

三者協議終了後、静岡県弁護士会で記者会見を開いた弁護団によれば、延期の理由になっていた証拠開示請求に対する検察からの回答は結局今回も出されず、開示できるかどうかの検討にさらに

3か月程度の時間が必要との意見が出された一方で、「今後は開示できるものは任意に開示し、裁判所の訴訟進行に最大限協力していく」との発言があり、次回9月13日(月)に行われることになった三者協議までに、検察から何らかの証拠開示がなされる可能性が高まりました。

原田裁判長も「審理が先に進まないので任意でできるだけ開示してほしい」「特に、捏造が疑われているわけだから、その疑いを晴らす努力をされたほうがよいと思う」と検察に促したことで、これは実質的な「証拠開示勧告」とみなすこともできます。

先月13日に22年ぶりに未提出証拠の開示が実現した狭山事件や、福井女子中学生殺人事件など他の再審事件で裁判所が検察に対し証拠開示勧告を出している背景には、裁判員制度との関連で刑事裁判に導入された公判前整理手続きで、広汎な証拠開示が可能になったことがあり、狭山事件で証拠開示勧告を出した門野博元東京高裁部総括判事は、『人権新聞』2010年4月号で次のよう

に述べています。

再審事件に共通の問題として感じたのは、検察側の証拠開示が不十分であるということでした。今の公判前整理手続きに付されている事件であれば、当然開示されるはずの証拠が弁護側には全然開示されていません。結論はどうあれ、そのような証拠のままではフェアな手続きとはいえないと思います。

新聞で報道されました、東京高裁で担当した狭山事件の再審では、裁判所の考え方を明確にしておこうと思い、訴訟指揮の一環として証拠開示の勧告にまで踏み込みました。

直接の根拠条文はありませんが、再審事件においても、公判前整理手続き中に盛り込まれた類型証拠開示や主張関連証拠開示の制度に準じて、検察側証拠の開示がなされるべき場合があると考えます。

最高裁による白鳥・財田川決定では、再審事件についても「疑わしきは被告人の利益に」という刑事裁判の鉄則が適用されるとされている以上、同じ刑事裁判でありながら、公判前整理手続きに付された事件では広汎に認められている証拠開示について、再審事件だから不十分な開示でかまわないとする考え方は合理的でないと感じている裁判官が増えているかもしれません。

検察が「任意に証拠を開示する」と言及したのは袴田事件では今回が初めてですが、公益の代表者を自認する検察にとって裁判所から頻繁に証拠開示勧告が出されるような状況は望ましくないで



しょうから、前述したような裁判官の考え方の変

化が、再審事件での証拠開示の取扱いに関して検察内部に何らかの変化をもたらしていることは確かでしょう。

また、今回弁護団は裁判所に対し新たに2点の未提出証拠(①「5点の衣類」が発見された味噌タンクの当時の味噌の量に関する検査資料、②味噌工場の家宅捜索時の写真など)について検察に開示命令を出すよう求めたほか、昭和42年9月12日に行われた袴田さんの実家の捜索時に、鉄紺色ズボンの共布を発見したとされる捜査員の証人調べ請求について補足説明を行い、早期に実施するよう求めました。

それにしても、検察による再度の回答延期は時間稼ぎ以外の何ものでもありません。本来今年3月に回答すべきところを半年近くも先延ばしにしている検察の職務怠慢をメディアはもっと批判すべきではないでしょうか。

なお、この日は三者協議に先立つ午前9時過ぎから、清水救援会のメンバーら9人が静岡地裁に要請を行いました。■

撮影・中川寿子さん

4月26日、東京・練馬区で行なわれた狹山事件の集会の模様。証拠開示が迫った心境を石川さんが色紙に綴った。「狹山にも やつと小さな 光点し 希望を 胸に 三次で 終結」。集会では、袴田巖さんの再審を求める会もアピールさせていただきました。(校條)

Free
Hakamada
Now!!!

「袴田巖死刑囚救援議員連盟」ニュース

共同代表・福田勇人

★国会内で設立総会開催★

2010年4月22日(木)午前11時30分から、衆議院本館第16控室で「袴田巖死刑囚救援議員連盟」の設立総会が開催され、役員には次の国会議員が就任しました。

会長：牧野聖修衆院議員(民主党)

世話人：松岡徹参院議員(民主党)・逢沢一郎衆院議員(自民党)・漆原良夫衆院議員(公明党)・照屋寛徳衆院議員(社民党)・自見庄三郎参院議員(国民新党)

事務局長：鈴木宗男衆院議員(新党大地)

このほかこの日の時点で、共産党・みんなの党的議員も含め、次ページに掲載した「設立趣意書」に賛同した議員計61人が会員に名を連ねています。



議連の牧野会長(左)と鈴木事務局長

総会では牧野会長が「袴田事件は冤罪だと確信しており、袴田さんの死刑執行停止と適切な医療措置を早急に法務大臣に求めていく」と挨拶し、鈴木事務局長からは歌手の松山千春さんから寄せられた応援メッセージなども読み上げられました。

また、弁護団を代表して出席した戸館圭之弁護士は再審請求の現状について説明しました。そし

て、袴田秀子さんは「死刑執行への不安な毎日を過ごすことだけでも変えてほしい」と述べ、支援者を代表して発言した清水救援会の山崎俊樹事務局長は、議連メンバーが早急に袴田さんと面会するよう要望しました(資料集参照)。

なお、秀子さんや支援者は設立総会終了後、鈴木事務局長の仲介で松山千春さんと都内のホテルで会い、ブックレット『はけないズボンで死刑判決』と獄中書簡集『主よ、いつまでですか』、それに支援Tシャツを松山さんに贈りました。松山さんからは「いつでも声を掛けて下さい」との頼もしい言葉をもらうことができました。

過去には1985年3月20日に「平沢貞通救援国会議員連盟」が設立されたことがあります、



支援協力を申し出てくれた松山千春さんと秀子さん



牧野会長に要望書を提出する袴田秀子さんと清水救援会の山崎事務局長

死刑囚救援のための議員連盟が設立されるのはそれ以来のことです。平沢さんは結局獄死してしまいましたが、袴田さんに同じ轍を踏ませるわけにはいきません。今後は議連とも連携して是が非でも袴田さんの解放を勝ち取りたいと思います。今回議連設立に向けて尽力していただいた国会議員と事務所のスタッフの方々には深く感謝します。



★事務局長の鈴木宗男議員が質問主意書提出★

設立総会の翌日4月23日、早速事務局長の鈴木宗男議員が袴田事件に関する質問主意書を内閣に提出してくれました。

質問主意書とは、国会議員が政府に質問したい場合に提出する書類のことで、その具体的な方法は国会法第74条に規定されています。質問主意書を受理した内閣は7日以内に答弁書を提出しなければならない（国会法第75条）、質問する議員にとっては迅速に内閣から答弁を引き出せるため、議席が少ないために国会で十分な質問時間を確保できない少数政党や無所属議員にとっては国会審議を補う重要な手段になっています（提出された質問主意書や答弁書の内容は、衆参各議院のホームページにすべて掲載されます）。

この日提出された質問主意書に対する答弁書は5月11日に鈴木議員に届けられ、それを受け鈴木議員は5月19日に「いわゆる袴田事件に関する再質問主意書」を提出。5月28日に政府から答弁書が届いています。そして即日「いわゆる袴田事件に関する第3回質問主意書」が提出され、現在政府からの答弁書を待っている状況です（各質問主意書・政府答弁書は衆議院のホームページを参照）。■

★議連メンバーが千葉法務大臣に申入れ★

5月7日（金）午後5時から、袴田巖死刑囚救援議員連盟の牧野聖修会長（民主・衆）らが法務省大臣室で千葉景子法務大臣と面会し、袴田さん救援のための申入れを行いました！

今回牧野会長と共に千葉法務大臣と面会した議連メンバーは松岡徹世話人（民主・参）・漆原良夫世話人（公明・衆）・照屋寛徳世話人（社民・衆）・鈴木宗男事務局長（大地・衆）の計5人です。

面会終了後、記者団の取材に応じた牧野会長は、4月22日の議連設立総会時に袴田秀子さんと支援団体から受け取った要望書を千葉大臣に提出した上で、議連として次の事項を申入れたと述べました。

1. 刑事訴訟法479条に基づき死刑執行停止命令を発令すること
2. 医療刑務所など然るべき場所に移送して適切な治療を施すこと
3. 議連メンバーによる東京拘置所での袴田さんとの面会を許可すること



千葉法務大臣（中央左）と面会した松岡徹・照屋寛徳・牧野聖修・漆原良夫・鈴木宗男各議員

牧野会長によれば、これに対し千葉大臣は「袴田事件については以前から関心を持っており、関係者や議連の意向も理解しているので前向きに検討したい」と述べたそうですが、今回の鳩山首相の辞任劇に伴って6月4日に千葉大臣も辞職しました。菅直人新内閣の法務大臣に誰が就任するのかわかりませんが、新法相に対しても議連は袴田さん解放に向けて引き続き尽力してくれるものと期待しています。

FREE HAKAMADA NOW! ■



浜松集会レポート

共同代表 福田勇人

2010年5月16日(日)午後1時からザザシティ浜松にある県西部地域交流プラザミーティングルームで開かれた「袴田巖さんは無実だ!5・16浜松集会」(主催:浜松袴田巖さんを救う会)に行ってきました。

袴田さんの同級生でもある主催団体の渥美邦夫会長の挨拶で始まった集会は、袴田さん救援議連にも名を連ねる地元選出の斎藤進衆院議員の安田秘書や、東京ではすでに公開されている映画『BOX 袴田事件 命とは』を7月31日から上映する予定の地元の映画館シネマイーラの榎本館長も駆けつけて挨拶しました。

弁護団からは伊豆田悦義弁護士が「名張毒ブドウ酒事件差戻し決定と袴田事件第2次再審」をテーマに講演しました。足利事件での失態で裁判所が少々弱気になっていることや布川事件・名張事件での再審開始決定で再審事件における裁判所の姿勢に変化を感じているとしながらも、今回の名張事件の最高裁の差戻し決定は必ずしも再審の壁を低くしたものではなく、今後も警戒感を持って裁判所と対峙する必要があると、冷静かつ的確に現状を分析し、裁判所に権力を正しく行使させるためには市民の盛り上がりが不可欠だと結びました。



もう一人のゲストスピーカーである東日本ボクシング協会袴田巖支援委員会委員長の新田涉世さんは、事件との関わりや面会できるようになった経緯、さらには最近の面会時の袴田さんの様子などについて話し、「1人の100歩より100人の1



ボクシング界の支援活動を引つ
張る新田会長

歩」が大切なことをハートで訴えました。

かつて金子ボクシングジムで新田さんと一緒に汗を流したという地元浜松救援会の福井英史さんからも映画のアピールがありました。福井さんはレフリー役で映画に出ていることを明かした後で、「この映画に答えはない。ひとりひとりが考えてもらいたい」という、脚本を手がけた夏井さんの弁を紹介していました。



浜松救援会の福井さん

法務大臣・静岡地裁・静岡地検に対し、死刑執行停止・再審開始・全面証拠開示などをもとめた要請文を採択した後、再審を求める会を代表して私からも連帯の挨拶をさせてもらいました。

そして、清水救援会の榎田代表の挨拶や地元支援者の竹内さんによるボブ・ディランの唄(袴田さんバージョンにアレンジ)の生演奏で盛り上がった後、最後に秀子さんが5月13日の面会時のエピソードを交えながら支援の継続を参加者に訴え集会は終了しました。

集会後、支援者は秀子さんの自宅に移動して今後の支援活動などについて話し合いを持ちました。どの支援者も今が勝負の時であると感じています。ひとりひとりの努力の積み重ねが、必ずやいい結果をもたらすと思います。私たちには何かを成し遂げる力があるはずです。■



● 2010年4月14日(水)

(以下、新田さんのブログ「袴田巖支援報告」から転載)

4月14日(水)に東京拘置所へ袴田さんとの面会に訪れました。

最近面会が実現した臨床心理士さんからのアドバイスもあり、拘禁症で会話がかみ合わなくても、袴田さんが何を言いたいのか、その言葉にきちんと耳を傾け、じっくり話を聞くよう努めました。

これまで、そうしてきたつもりですが、今回は報告の為のメモも取らず、会話のみに集中しました。ところが、この日の袴田さんは、差し入れ用に持ってきたボクシング雑誌を見ても、「もうボクシングは廃止された。そんな物持ってきて仕方ない」

「あんた達も面会に来ても、みんな私になっちゃうから意味がない」

など、悲観的な言葉が多く、私もだんだん沈んでしまいました。何十年もの間、明日、死刑執行の呼び出しがかかるかもしれない環境の中で、毎日毎日過ごしている人を前にして、誠実な態度とは一体どんな態度なのでしょうか。

「本当に何も出来なくてすみません・・・」

私がそう言うと、涙なのか、ゴミなのか、袴田さんはポケットからティッシュを取り出し、目拭きました。多少、不誠実でも、多少、不謹慎でも、悲観的な言葉にはあまり耳を傾けず、少しだけ気持ちに距離をおいて、世間話や楽しい話をした方が良かったかも・・・

「差し入れしようと思って持ってきたんですが・・・」

「そんなものは意味がないからいらん」

ボクシングの雑誌は結局差し入れしませんでした。とぼけて入れてもいいかなと思いましたが、袴田さんとの信頼関係(あるのかどうか分かりま

せんが)を守りたいと思ったので、今回はやめておきました。今の私に出来る事は、来月も面会に行く事くらいですか・・・

● 2010年4月22日(木)

(以下清水救援会の面会報告から引用)

日時：2010年4月22日 15：17～15：32

場所：東京拘置所 10階第四面会室

面会者：ひで子、山崎

14：30頃に面会申込、申込者はひで子さん、平野君子さん、荒井洋子さんの3名分を1枚の申込書に、山崎のみを1枚の申込書にして、ひで子さんらのみ受付に提出。数分後、係官(顔なじみ)が私たちの前に来て、

「平野さん、荒井さんは面会を認められておりません」

もっと面会する人を増やしてほしい旨お願いしたが、私どもには面会者についての権限はありませんので、と受け流された。(当たり前のことだが、いつもの対応)

ひで子さんと山崎の名前で、再度面会申込を行った。面会番号10階148番。待っている間に、ひで子さんは衣類の差し入れを済ます。

15時5分過ぎに面会番号が呼ばれ、11階で少し待ち、第4面会室に入ったのは15時15分過ぎ、袴田さんから見て右側がひで子さん、左側に山崎が座る。イスに座ると同時に巖さんが入ってくる。立ち合いの刑務官は(山崎にとっては)初顔であった。

巖さんの様子は頭は丸刈り(五分刈り)の坊主頭だが、髪の毛が少し伸びている。多少の白髪混じりだが、黒々としている。山崎は、昨年の11月以来の面会であった。そのため、とても太って見えた。(おそらく、この半年間で5kg以上太ったように見えた。山崎のこれまでの面会の中ではもっとも太っている)74歳という年齢としては、若く見える。額右上部に白いクリーム状のものが、わずかに付いている。服装は、濃紺の上下ともフリース状のトレーナー。上着の下に濃紺のボタン

で留めるカーディガン(?) 左胸に食べ物をこぼしたような跡みたいな薄い染みが付いている。顔色は良く、つやがあり、少し赤いので風呂上がり直後の、顔にクリームを塗ったばかりという感じで、つやつやして、かなりふっくらしている。そのため顔のしわは目立たない。昨年7月、11月に会っているが、そのときの印象と、まったく違って、すごく太っている。単なる体重の増加だけでなく、病的なものを感じた。肌の色も色つやもかなりよく、(以前は良くなかった)目も生氣があるよう見えたが、歩き方が頼りなくよたよた歩いてくる。猫背、歩幅も狭く、足腰は年齢以上に衰えて見えた。

ひで子：元気そうだね？

巖：ああ。・・・何となく素っ気ない

ひで子：着るもんを入れといたから。

巖：ありがと

静岡新聞4月22日朝刊(資料集参照)の議連発足の記事をガラス越しに見せながら。

巖さんは、少し身を乗り出して見たが、詳しく読もうとはしない。・・・見出しぐらいは読んだのかと思う。

山 崎：今日こうやって、袴田さんの救援のために国会議員の人たちが集まつたんですよ。裁判所だけでなく国会も動き出しましたから。

巖：・・・儀式で勝つたから、何でも保証される・・・世界中の千恵が集まつて何でも決められる。みんな決まつたことだから。

以下ほとんど山崎が会話する

山 崎：メガネの具合はいいですか？よく見えますか？

巖：よかあ一見えないが、読まないから。

山 崎：またメガネ送りますから。体の調子はどうですか？具合悪いところはないですか？

巖：メガネ、読まないからな。悪いところはないよ、儀式で勝つて保証されているから、健康万全。

山 崎：食事は大丈夫ですか？足りていますか？

巖：大丈夫だよ、5メートルの天狗と戦わなければいけないから、5メートルになるために栄養をとらなきゃいけないから。

山 崎：薬はもらっていますか？どのくらいの量ですか？

巖：朝六粒、昼一粒、夜二粒 5メートルの天狗と戦うための栄養剤だな。

山 崎：錠剤ですか、カプセルですか？・・・粒ですか、丸くふくらんでいますか？

巖：粒だな。

山 崎：ところで、おでこに白いものが付いていますか？

巖：クリームだな。世界一の知識人としてのモラルとしてのクリームだ。4種類のクリームがある。

山 崎：どうやって手に入れるんですか？買えるんですか？

巖：ここでは全部自分で決められるんだ。儀式として保証されているから。世界を取つた人は世界中のお金は全部自分のものなんだ。

山 崎：そうですか。ところで、袴田さん、ちょっと爪を見せてくれませんか？

巖：こうかね・・・

・・・と両手の爪を見せる。

爪の色はきれいな肌色、伸びてなく、きれいに切られている。山崎の印象だが、幼い子供の手のようにどの指もふっくらとして優しい(女性的な)指をしている

山 崎：爪は自分で切るんですか？

巖：自分で切るよ。

山 崎：自分で切る時、よく見えますか？

山崎は、老眼の人はメガネ(老眼鏡)をかけないと、深爪をするから不便だという話を聞いたことがあったので、どの程度、良く見えているのかを確かめたかったため

巖：見えるよ。

山 崎：足の爪はどうですか、自分で切れますか？これもまた、老眼の人から聞いた知識です。老

眼鏡は手元で文字を読む距離で調整されているため、手の爪はメガネをかけなければ切ることができるが、足の爪は、メガネをかけてもはずしても、よく見えないので、とても苦労するそうです。老眼の程度がどの程度が知りたいために、質問しました

巖：足の爪は伸びんよ。厚くなる。色んな動物が入ってきて痛いことは無くなつた。電波で攻撃されることは無くなつた。強い電波をだすから・・・爪は生きている防御のために使われた固まり、・・・儀式がある。

山崎：そうですか。もう一つお願ひがあるんですが、ちょっと服の袖をあげて、腕を出して、指で少し強く押してくれませんか？

巖：(一瞬袖をめくろうとしたが、思い直したように強い口調で) そんな医者みたいなことは言うな！

前述したように、私は久しぶりの面会なので、以前と比べると、ずいぶん太った(むくんだ)ので、それが病的なむくみなのか、単なる肥満なのかを確認したかった。

山崎：わかりました。お医者さんには見てもらつたことはないですか？歯医者さんとかも。これも、今回の面会で気が付いたことですが、右下あごの歯が(たぶん)1本抜けていました、前歯と奥歯の中間にある歯(犬歯の隣の歯・・・たぶん下顎第2小白歯)で、会話をしている際、その部分の歯が無かったなかったのです。前歯でしたら直ぐ分かりますが、少しわかりにくい位置です。虫歯の治療で抜いたのか(拘置所はほとんど治療をしません、ただ抜くだけです)、それとも歯周病で抜けたのか、何らかの抑圧(暴行)を受けた結果なのか・・・。

巖：ない。

ひで子：服は合うかね。実(巖さんの上の兄さん)の服だよ。

巖：ミノル・・・？

ひで子：実あにいの服だよ。直さんでいいな。

山崎：お兄さんの服ですよ。

巖：お兄さん・・・? そんなことは嘘ここでは与えられるから(たぶん服が与えられるという意味だと思う)

山崎：最近は何かビデオを見ましたか？

巖：靈の世界のものを見た。

山崎：どんなことでしたか？

巖：靈の世界の状況だな・・・。(具体的な内容の説明はできない)

山崎：どのくらいビデオを見ますか？

巖：一ヶ月に三回だな。

山崎：映画は見ないんですか？釣りバカ日誌とか、男はつらいよとか、袴田さんが好きな小林旭の映画とか。

巖：高倉健の映画を見た。

山崎：どんなものですか？

巖：高倉健が刑事課長で・・・利益で大きくなっていく・・・(具体的な説明はできない)

山崎：そうですか、来月は西嶋弁護団長が来ますから、会って下さいね。ところで服とかいらなくなつたらどうしますか？宅下げにしてくれませんか？

巖：捨てられるから(捨てることができるという意味)、自分で決められるから。

山崎：今度手紙を入れますから、返事を出してくれませんか？

巖：それは無理だな、みんな変えられちゃうから、書いても。悪魔を殺すための手紙をもらって、悪魔が・・・少し饒舌にしゃべり出す。

刑務官：終わりです

巖：はいよ立ち上がる

ひで子、山崎：じゃ・・・また・・・。

刑務官に促されることも、後ろを振り返ることなく、面会室を何事もなかったかのように出て行く。猫背で歩き方が歩幅も狭く頗りない。(終わり)

※お姉さんの話によると、巖さんは医者嫌い・・・“殺される”という恐怖があるのだと思います・・・で、面会の際、刑務官から「医者にかかるように言って(説得して)下さい」と頼まれたこともあ

ります。医者に関する本人の反応から、どうも定期的な健康診断・カウンセリング・問診などは受けていないような気がします。また、私の想像ですが、食事制限に対して、ものすごい抵抗・・・例えば暴れるとか・・・をした、その結果、食事制限をはずし、甘い物などの購入を許し、拘置所は好きなだけ食べさせている、可能性があります。所持金の使用年月日と内訳も把握した方が良いと思います。(山崎私見)

● 2010年5月13日(水)

(以下西嶋弁護団長の面会報告から引用)

1) 5月13日(木)午後3時から、秀子さんと心理士藤本豊さんと一緒に3人で面会しました。面会時間はジャスト30分で、30分すぎると立会い職員が立ち上がって部屋の外に出て行き、袴田さんもあっさり立ち上がって出て行きました。

2) 面会の要旨(袴田氏のはなし)

今日はバイキンとの闘いに最終的に勝利した日。死んだ人の靈が最後の面会に来てくれた。20年闘ってきて自分が勝った。世界中の智恵が自分1人に集中して神になった。透明人間になり、天狗もある。ここは自分が支配し、世界も運営している。自分が日銀に指示して、国民1人当10万円ずつ上げる。キカイで保障している。今はこの部屋の中で自由に歩いているが、明日から外に出て歩ける。新聞も読んでいる。自分がキカイに作らせているからウソはない。

(議員連盟ができたことを報告しても反応なし)
(再審中であることは判っているかとの問い合わせ)
再審は儀式で書いているだけ、実際じゃない。
(この外、悪魔、神が度々登場したが、脈絡がないのでカット)

顔色もよく、さほど太っている印象なし。食事、体調に問題ない由。1日2時間歩いている、という。

3) 面会後、事前に申入れていた責任者からの健康状態の説明については、庶務課長補佐外1名が出てきて「秀子さんのみにしか説明しない」と固執し、強く抗議するも他2人は同席できず。

(引用終わり)

なお、この日は浜松救援会の寺澤さん、笠井さんと本会の平野さんも拘置所に同行しました。

● 2010年5月26日(水)

(以下、新田さんのブログ「袴田巖支援報告」から転載)

13:00頃に東京拘置所到着。「再審を求める会」共同代表の福田勇人氏と、フリーライターの渋谷淳氏と共に面会申請をしたが、いつもと同様に「福田氏と渋谷氏の面会は認められていない」とのことでした。

13:45頃、いつもよりも呼び出しに時間がかかったが、ようやく面会フロアへ上がりました。しかし、ここでもしばらく待たされ、14:00頃に面会室へ入ることが出来ました。袴田さんは、オシャレな半袖シャツ、白黒のスウェットパンツといういでたち。それほど太っている印象はなかったが、顔の盤が以前より大きいという印象を受けました。

新田「呼び出しから時間がかかったのですが、何か忙しかったんですか?」

袴田「いや、拘置所の人達が何か忙しそうだったみたいですね」

新田「最近、面会に来る人は多いですか?」

袴田「うーん、あまり無いですかね・・・」(実際にかなり増えているはず)

新田「今日も福田さんという方が一緒に面会に来たんですが、許可されなかつたんです。袴田さんによろしくと言っていました」

袴田「ああ、そうですか」

新田「ボクみたいなのが面会に来るより、たまには若くてキレイな女性が来た方がいいですよね?」

袴 田「何十年もここにいたら、そんな気持ちもなくなるな」

新 田「世界王座を10度防衛していた長谷川穂積選手が負けてしまいました。でも、西岡利晃選手が4度連続のKO防衛を果たしたんです」

袴 田「ほう、そうですか」

新 田「悲しいニュースがありまして・・・。エドワイン・バレロという世界王者が自殺してしまったんです。27戦27勝(27KO)という凄いチャンピオンだったんですが・・・」

袴 田「ふーん、なるほどね・・・」(そっけないが、しっかり話を認識している様子)

新 田「袴田さんに関する本が出版されたんです。これです。(美談の男 / 鉄人社)
熊本典道という元裁判官の事が描かれているんですが、熊本さんて知っていますか?」

袴 田「熊本・・・? うーん、知らんなあ」

新 田「最近は、映画や本など、袴田さんに関連するものが続けて世間に発表されています。多くの人に袴田さんのことを知ってもらい、少しでも良い方向に進めばと思ってるんです」

袴 田「まあ、全ては血で出来ているからな。5メートルの天狗がいるから・・・」(事件絡みの話題には触れたくないのだろうか)

新 田「袴田さんは年間試合数の日本記録を持っているそうですね。19試合でしたっけ? 今の時代は年間4試合くらいがいいところです」

袴 田「やっぱり打たれないということだな。私の頃は月に2回やった」

新 田「今は安全重視になってきて、せいぜい3か月に1試合くらいが平均ですね。僕も多い方だと思うんですが、それでも34戦ですからね」

袴 田「私は3万戦3万勝(3万KO)だ」

新 田「今の時代はボクシングではなかなか食べ

てゆけません。日本チャンピオンでさえもアルバイトしながらという選手がいますから」

袴 田「やっぱりファイトマネーが沢山なきやいかん。

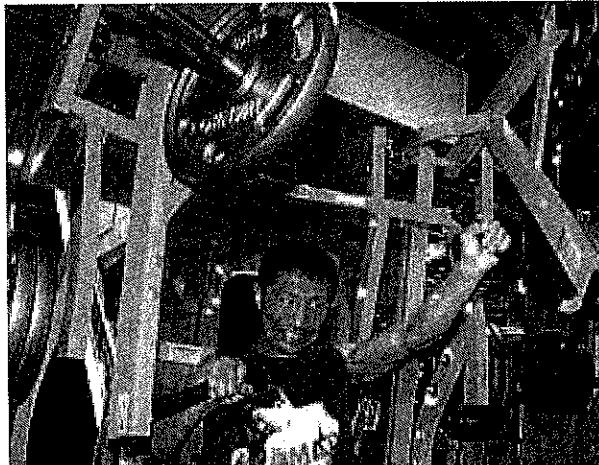
昔はチャンピオンなら蔵が建った。金のあるスポンサーがいないといかんな・・・」

新 田「僕はボクシング協会の役員もしていて、力は無いんですが頑張らないといけないです」

袴 田「頑張っていりや、いいこともあるってもんだ」

その他、記憶から抜けている点もありますが、大体以上のような会話をしました。今回は、精神的に安定している様子でした。表情も穏やかで、割と心の通う会話が出来たような気がします。「頑張っていりや、いいこともあるってもんだ」という発言には驚かされました。袴田さんの口から、こんな前向きな言葉を聞いたのは、もしかしたら初めてかもしれません。

面会後、ボクシングマガジン6月号、ボクシングワールド6月を差し入れました。福田氏はいつものように花束を差し入れました。以上、長くなりましたが、今回の面会報告です。■



袴田巖再審支援Tシャツ通販サイト（日本プロボクシング協会公認）

<http://www.free-hakamada.com>

がんばれ！Free Hakamada Now !!

支援Tシャツの収益は、全て日本プロボクシング協会 袴田巖支援委員会と支援団体に寄付されます。

映画『BOX 褐田事件 命とは』 がついに公開！



共同代表・校條 実

2010年5月29日より、渋谷ユーロスペース、銀座シネパトスを皮切りに、映画『BOX 褐田事件 命とは』がついに公開ロードショーのスタートを切った。雑誌「ぴあ」調査による5月28日、29日公開の映画の「ぴあ初日満足度ランキング」では1位を獲得するなど、上々の滑り出しだす。

映画の公開に先がけ、5月18日に有楽町朝日ホールにて、完成披露試写会が行なわれ、行ってきました。

入場者に再審を求める会のパンフレットを配布させていただくことになり、救う会のメンバーの方々と共に早めに現地の到着すると、すでに一般試写の方々が並んでいてびっくり。普段なかなか「褐田事件」のことを広げられずにいる身としては、映画の大きさに唖然とするのみ。



満員の客席の中、舞台挨拶に高橋伴明監督（写真右）、俳優の萩原聖人さん（中）、新井浩文さん（左）が登場し、映画にかけた思いをそれぞれ話されました。お三方とも重い表情で登場し、開口一番、高橋監督が「この映画は楽しくもないし、観終わった後の爽快感もないです。」（←私の怪しい記憶から）と、のっけから直球勝負でスタート。重い感じで始まりました。「褐田事件」の重い現実に向き合う映画人の立ち位置がこの言葉に凝縮されていました。萩原聖人さんも新井浩文さんも終始重い表情で、なんとか場を和ませようと高橋

監督が冗談を振るといった感じで、あまり映画の試写会や舞台挨拶を見てないのですが、これは異例の重さだろうと思いました。

監督と俳優さん方の話が終わると、次に褐田ひで子さん（写真右端）、元主任裁判官の熊本典道さん（右から三人目）、冤罪事件の元死刑囚で無罪を勝ち取った免田栄さん（左端）が登場し、それぞれにお話しされました。（マイクを持たれて



る方が脚本の夏井辰徳さんです。）事件の当事者や関係者の登場で会場はさらに緊張した感じで、皆が耳を傾けていました。

映画の試写が終わった時、会場はシーンとしてから、拍手がわーっと起こったのでした。



『BOX 褐田事件 命とは』 公開予定（スローラーナー ブログより http://d.hatena.ne.jp/slowlearner_m/）
渋谷：ユーロスペース 5/29～、銀座：銀座シネパトス 5/29～、名古屋：名古屋シネマテーク、富山：TOHOシネマズ ファボーレ富山 6/19～7/2、大阪：シネ・リーブル梅田 6/26～、神戸：シネ・リーブル神戸 6/26～、横浜：シネマ・ジャック & ベティ 7/17～、札幌：シアターキノ 7/10～、

八戸:八戸フォーラム 7/10～16、京都:京都シネマ 7/24～、大阪:第七藝術劇場 7/24～、山形:MOVIE ON やまがた 7/24～、浜松:シネマ e-ra 7/31～、静岡:シネ・ギャラリー 7/31～、静岡県東部:シネプラザサントムーン 7/31～、高崎:シネマテークたかさき 8/21～9/3、小山:シネマロブレ 8月予定、宇都宮:ヒカリ座 9月予定、仙台:仙台フォーラム 8月予定、盛岡:盛岡フォーラム 9月予定、福島:福島フォーラム 9月予定、福岡:KBCシネマ 近日上映、広島:横川シネマ 近日上映、松山:シネマルナティック 10月予定
※上映スケジュールは事前に確かめて下さい。

『BOX 袴田事件命とは』

監督:高橋伴明

出演:萩原聖人、新井浩文、葉月里緒奈、村野武範、保阪尚希、ダンカン、須賀貴匡、中村優子、雛形あきこ、大杉漣、國村隼、志村東吾、吉村実子、岸部一徳、塩見三省、石橋凌、ほか

2010年 / 日本 / 117分 / 35mm/DTSステレオ

配給:スローラーナー

製作:BOX製作プロジェクト ■

映画『BOX 袴田事件命とは』

久松さん

私は、自分がNGO等でボランティアをする原動力は「想像力」だと思っている。日本の片隅で、世界の果てで、こんな酷いことが起きていて、もしこれが自分だったらどうするだろう?家族だったらどうだろう?大切な人だったらどうだろう・・・と想像すると、何かしなくてはという思いになる。

友人のボクシングの試合を観に行き、初めて袴田さんの事件について知り、自分なりに想像力を働かせ、何かできることはないかなと、勉強会に出たり、署名活動をお手伝いさせてもらっている。でも、今回この映画を見て、自分の想像力の貧しさに気がつかされた。長時間の取り調べ、言葉、そして肉体での暴力、スクリーンで実際にしたのは、多分わずか十数分のシーンだったはずなの

に、本当に辛くて見ていられなかった。これを、いえ、多分これよりも更に酷い取調べを、何十時間、何百時間と受けてきたことを、私なんかが想像できるわけがない。免田栄さん、足利事件の菅谷さん、その他いったいどれだけの人たちがこのような取調べを受け、やってもいない罪を認める事になってしまったのかと考えると、本当に胸が痛くなるし、恐ろしくもある。

この映画によって、袴田さんの事件をたくさん的人に知ってもらい、また、取調べの可視化、死刑、裁判員制度等、考えるきっかけになってくれたらと思う。■

「袴田事件命とは」を見て

平野君子

3月25日京橋テアトル試写室において、初めての試写会が行われました。袴田秀子さん、熊本さん夫妻、免田さん夫妻もみました。会場は夏井さんはじめ関係者や支援者などでいっぱいでした。

映画は袴田巖さんが、いわゆる袴田事件の犯人に仕立てられていく過程がはっきりと描かれていました。

被害者の会社は、近親者や地縁者が主で、袴田さんだけが縁故でなく、元ボクサーということで、警察から目をつけられ、厳しい取り調べをして自供をとる手法で犯人に仕立てられました。

それでも袴田さんだったから、連日長時間の取り調べに20日間も耐えられたと思います。自分がやっていないからこそ、頑張れたのだと思います。

冤罪になったひとは、必ず取り調べで、調書をとるときは認めて、裁判で無罪を訴えるように言われて、やったと認めると裁判所でいくら無罪だと訴えても認められない結果になっています。

一方、裁判官は、二人は早稲田大学出で、熊本さんは国立大学出と言うことで、ひとりの命に係ることなのに、学閥や個人的問題が関係するのにびっくりです。熊本さんも、無罪の心証なのに、死刑の判決文を書いたことで、自分を追い詰め人生が狂ってしまいました。

一人の人間をこうも簡単に犯人に仕立て上げ、死刑にしても平気な人達がいることが恐ろしいです。

改めて「人が人を裁く」ことはできないと思います。

映画は5月29日から一般公開されました。友人が29日11時から渋谷ユーロスペースでみてくれました。満席だったそうです。2回目も長い列が出来ていたそうです。

友人は、あんな厳しい取り調べが本当にあったのかと、びっくりしていました。映画を見て、77歳のこれまで知らなかったことを、いっぱい知ることが出来てありがとう。もっとたくさんの人々に、この映画を見てほしいと、言っていました。■

映画『BOX袴田事件命とは』の感想

江口

監督も俳優もとても重い内容の映画と話していました。今の世の中、今後のロードショーで多数の人々が来てくれるのかと心配にもなる程の深刻な場面がずしりと積み重なっていく映画でした。

袴田さんが体験させられてきた無念さ、苦難を感じ取っていくことを常に忘れないように自らに言いきかせて長年支援に関わってきた者として、あの2時間程の上映時間の中で、改めてこの現実の重さ、苛酷さを実感させられた想いでした。

この映画の主人公である熊本元裁判官役の人間としての苦悩がとてもよく表現され、描かれていたと思います。・・・が、私の希望としては、一方無実の人が死刑判決とされた苦しさ、死刑囚とされた人の毎朝続く執行の恐怖心、そしてついには精神を病んでしまうことになった過程（映画でも描かれていましたが）、それをもっとていねいに描写してくれたらよかったです。

そして映画が終って思ったことです。こうした映画に多くの観客が集まるような世の中になればいいなど。そして、そして袴田さんをデッチあげた警察官達、5点の衣類を捏造した警察官達、あなたたちがこの映画を見たならば、事実を告白しなければ思ってくれるのではないか。■

人間としての生き方が問われているのです。■

『BOX袴田事件命とは』

共同代表・福田勇人

こういう言い方をすると語弊があるかもしれないし、高橋伴明監督はじめスタッフの方々や萩原聖人さんほか役者さんたちにはひどく失礼だとも思うが、極端な話、私にとっては映画の内容や出来は大した問題ではないのだ。「袴田事件」を題材にした映画が制作され、全国各地で上映されるというその事実だけで、この映画は作られた意味があるし、日本映画史にその名を刻むに十分値すると思う。なぜなら、近い将来必ず訪れる袴田巖さんの解放に、つまりは、一人の冤罪被害者の命を救うことに、この映画は大きく貢献することになるからだ。

では、心血を注いでこの映画を世に出してくれた関係者の熱き想いに少しでも応えるために私にできることは何だろう。彼らに感謝と祝福のメッセージを送ることもできよう。もちろん映画を宣伝することも大切だ。しかし、それにも増して重要なのは、この映画を観て「袴田事件」という悲劇の存在を知ってくれた人たちに、事件に関する正確な情報を提供することだと思う。そこに誇張は必要ない。ドラマも要らない。事実をそのままに伝えることさえできれば、何ゆえ、袴田さんは44年にもわたって自由を奪われ、自らの存在を否定するまでに精神を病まなければならなかつたのか、すべては明らかになるはずである。FREE HAKAMADA NOW! ■

カンパのお願い

★会では活動資金が必要です。★

★どうぞカンパにご協力下さい。★

★ボーナスカンパ大歓迎!★

郵便振替口座番号：00120-3-410592

口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
または

ゆうちょ銀行〇一九店（ゼロイチキュウ店）

当座 019-0410592

口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

※「巖」は「巖」でも大丈夫です。



ホームページが リニューアルしました!

求める会事務局

1年以上「現在、HPリニューアル中です。しばらくお待ちください。」と表示されたままだった本会のホームページですが、5月29日(土)の映画『BOX 褒田事件 命とは』の公開に合わせて何とかリニューアルして公開しました！

新しいサイトのURLは、



再審を求める会のホームページ

<http://hakamada-saishin.org/> です。

まだ準備中のコンテンツが多々あり、完成にはほど遠い状態なのに加えて、旧サイトも閉鎖しておらずご迷惑をお掛けしますが、今後はここを訪れば「褒田事件」の全てがわかる総合サイトを目指していきますので、ブログともどもよろしくお願いします!! ■



書籍紹介

『美談の男 免罪褒田事件を裁いた 元主任裁判官・熊本典道の秘密』

尾形誠規著・鉄人社・本体1400円

共同代表・福田勇人

自分のことを考えればすぐにわかると思うが、ひとりの人間の中にはいくつもの側面があって、それらがゴチャ混ぜになって性格とか人格とかを形成しているわけだ。そりや、ご先祖様から受け継いだDNAによって傾向みたいなものは定まっているのかもしれない。でも、同じ人が同じものを見たり、同じことをしたりしたときでも、その日の体調とか、気分とかで全く感じ方が違うこともある。要するに人間というのは訳のわからん存在なんです。

だから何が言いたいのかと言うと、熊本さんことを「良心の人」「正義の人」「苦悩の人」といったステレオタイプの言葉でブツ切りにして、勝手にイメージを作り上げてわかったような気になつても、そんなもんは「日本の首都是東京だ」ってこと知ってるだけで日本の全てを知ったような気になってるのと大差ないということだ。

で、この本がいいところは、そういう複雑怪奇な存在としての人間・熊本典道を、その全貌なんか到底わかるわけはないという限界を知った上で、それでも対象に果敢にぶつかっていったところじゃないかと思う。著者の尾形さんから来たメールに、「自分としては、褒田事件というより、『熊本典道』という一心不乱に打ち込めるテーマに出会えたことに感謝しています」って書いてあったけど、そういう好奇心が根っこにないと、やっぱり文章が表面だけをツルツル滑っていく感じになりがちですよ。

熊本さんのことだけでなく、「褒田事件」についても写真入りでわかりやすく書かれているから皆さん是非買って読んで下さい! ■



活動報告

- 4/7 褐田事件映画試写会出席(永田町・憲政記念館)
 4/10 ゴビンダさん支援集会でアピール(三田・港区労働福祉会館)
 4/14 褐田さんに面会申込(小菅・東京拘置所)
 4/14 ボクシング界支援委員会参加(水道橋・ヴィックキーズ)
 4/16 漆原良夫議員に挨拶(永田町・衆議院本館)
 4/16 牧野聖修・鈴木宗男議員秘書と打合せ(永田町・衆院議員会館)
 4/18 求める会定例会(巣鴨・村崎法律事務所)
 4/20 折山敏夫さん支援集会参加(東中野・ポレポレ東中野)
 4/22 褐田さん救援議連設立総会参加(永田町・衆議院本館)
 4/22 褐田さん面会同行(小菅・東京拘置所)
 4/22 在京支援団体打合せ(有楽町・THE ROSE & CROWN)
 4/22 鈴木宗男議員パーティー参加(赤坂・ホテルニューオータニ)
 4/26 狹山事件集会でアピール(練馬・厚生文化会館)
 5/7 議連役員千葉大臣申入れ取材(霞が関・法務省)
 5/9 求める会定例会(巣鴨・村崎法律事務所)
 5/11 議連役員秘書と打合せ(赤坂・北海道)
 5/12 狹山集会参加&書籍販売(日比谷・野外音楽堂)
 5/13 褐田さん面会同行(小菅・東京拘置所)
 5/16 浜松救援会集会(浜松・ザザシティ浜松)
 5/16 支援団体打合せ(浜松・秀子自宅)
 5/18 『BOX 褐田事件 命とは』完成披露試写会出席&ビラ配布(有楽町・朝日ホール)
 5/26 褐田さんに面会申込(小菅・東京拘置所)
 5/26 ボクシング界支援委員会参加(水道橋・ヴィックキーズ)
 5/26 銀座シネパトスにリーフレット送付
 5/28 弁護団会議参加(静岡・弁護士会館)
 6/6 『さいしん』33号発送作業(横浜・かながわ県民センター)

編集後記 編集直前で腰痛に襲われました！ひー。サッカーW杯、日本がんばれ！アフリカがんばれ！長谷川さん内藤さんそして俺もがんばれ。みんな息抜け！あ、間違えた…生き抜け！今日は割愛のレポもありました。映画『BOX 褐田事件 命とは』観て下さい！総理代わってるし。事件のあった6月30日が近づいている。44年目。(ペンネームzan)



活動予定

求める会

- 6/13 求める会定例会(巣鴨・村崎法律事務所)
 6/23 褐田さんに面会申込(小菅・東京拘置所)
 7/11 求める会定例会(巣鴨・村崎法律事務所)
 8/1 『さいしん』34号発送作業(横浜・かながわ県民センター)

その他の団体

- 6/9 秀子＆弁護団褐田さんに面会申込(小菅・東京拘置所)
 6/10 弁護団・議連懇談会(永田町・参院議員会館)
 6/16 弁護団証拠開示班会議(霞が関・弁護士会館)
 6/16 弁護団事務局会議(霞が関・弁護士会館)
 6/16 死刑問題研究会(大宮・大宮法化大学院)
 6/23 ボクシング界支援委員会(水道橋・ヴィックキーズ)
 6/27 救う会公開学習会(清瀬・清瀬教会)
 7/4 清水集会(清水・清水テルサ)
 7/5 弁護団勉強会(静岡・弁護士会館)
 7/5 弁護団会議(静岡・弁護士会館)
 7/23・24 弁護団合宿勉強会(三島・東レ研修所)
 7/27 トクホン真闘ジム興行(水道橋・後楽園ホール)
 7/30 弁護団事務局会議(霞が関・弁護士会館)

会報をお読みの皆様からのメッセージ
(振込み用紙通信欄)を紹介します。



~2010年2月分～2010年5月分～

●足利事件再審ではとうとう裁判官が謝罪しましたね！でもなぜ冤罪がおきたのかのきちんとした説明がなかった。誤判の原因を調査する第三者機関を早く作って欲しい。そして再審を求めている人々にも早急に目を向けて欲しい。でも少し進んできましたね。この機会をのがさずがんばりましょう。“BOX 褐田事件”的映画もたくさんの人にみてもらって関心をもってもらいたいですね。(2010.3 東京都台東区) ●共同代表他皆様の努力に深く敬意を表します。ここから年会費を差し引いて残はカンパします。会計報告をみまして頑張っている姿に頭がさがりました。(2010.2 埼玉県行田市) ●年会費です。(2010.2 北海道江別市) ●いつも会報ありがとうございます。(2010.5 東京都国立市) ●いつも会報をお送りいただきありがとうございます。会費の支払い、大変遅くなり恐縮です。今後ともよろしくお願いいいたします。(2010.4 東京都千代田区)

